

白山砂防女性特派員

金沢河川国道事務所では、土石流などの土砂災害から下流域に住む人々の生活を守るために白山で砂防事業を展開しているが、日常生活の中で砂防事業を知る機会が少ないため、一般の方にはその必要性を実感しづらい面がある。白山砂防女性特派員は、女性の目線から白山や砂防事業を見て、聞いて、考えて、そこで得られた知識を広く情報発信するという目的で平成14年に設立した。

毎年、砂防施設の見学から学んだ知識を活かして、砂防事業の広報活動や小学生を対象に土砂災害啓発活動を行っている。

● 砂防施設見学・手取川源流域調査

毎年、管内で実施されている工事現場に行き、施工中の砂防堰堤で現場責任者の説明を聞いて、出水時の安全対策や砂防堰堤の必要性を学んでいる。また、手取川源流域で行っている源流調査では、地すべり対策事業の現場へ行き、現場での作業状況や資材運搬の状況などを直接見聞きして、山岳現場での苦労や事業の大切さについて学んでいる。



施工中の砂防堰堤を間近で見学



手取川源流域に向かう特派員

● 広報・啓発活動

6月の土砂災害防止月間に広報キャラバン隊として、金沢市内での街頭広報活動、手取川流域の各行政機関を訪問して防災広報の協力を呼びかける活動、及び子供たちが少しでも土砂災害を身近に感じ、防災の意識をもってもらうことを目的とした啓発活動を行っている。



土砂災害防止月間での街頭広報活動



小学生に対する土砂災害啓発活動（土石流模型による実験）